

平成20年度 第3回花見川区地域福祉計画推進協議会議事要旨

日時 平成20年11月7日(金) 午後2時00分～午後4時10分

場所 花見川区役所2階講堂

出席委員数 26名

欠席委員数 4名

事務局 8名

【1】次第

- 1 開会
- 2 委員長挨拶
- 3 議題 (1) 地域福祉活動の事例について
(2) 地域福祉推進モデル事業について
(3) 地域福祉の推進状況について
(4) 市地域福祉計画推進協議会について
(5) その他
- 4 閉会

【2】議事要旨

委員定数30名のうち、26名出席、4名欠席を確認し開会した。

事務局司会の下、配付資料の確認を行い、議題に入る前に委員長から開会の挨拶があった。

議題(1)

地域福祉活動の事例について

平成20年3月に発行された千葉市地域福祉活動事例集に掲載されている、花見川区の2例について各団体の説明者から事例集に沿って説明いただいた。

西小中台自治会 たすけあい委員会

「“お互いさま”でコミュニティを再生」

鷹の台自治会 地域福祉部

「高齢社会に必要な活動を・住民が求める活動を」

<質疑応答>

委員：鷹の台自治会さんは、活動する人に対して報酬はあるのでしょうか。

鷹の台自治会：私たちは、個人を対象とした活動はしておらず、地域全体の活動をし

ている。経費は自治会の負担や地区部会から補助があるが、ボランティアは無償である。

議題（２）

地域福祉推進モデル事業について

保健福祉総務課から地域福祉推進モデル事業について資料に沿って説明があった。

<質疑応答>

委員：２年間かけて成果物を作っていくのでしょうか。

事務局：はい。ただし、２年間で終わりではなく、継続していただく。

委員：マップは作成したら、それで終わりになると思うが、継続するとはいうことか。

事務局：マップに関連して、そこから広げていけばいいと思います。

議題（３）

地域福祉の推進状況について

保健福祉総務課から地域福祉の推進状況について資料に沿って説明があった。

また、こてはし台地区部会から「コミュニティビアガーデン」の活動について説明があった。

<質疑応答> なし

議題（４）

市地域福祉計画推進協議会について

保健福祉総務課から市地域福祉計画推進協議会について資料に沿って説明があった。

<質疑応答>

委員：市地域福祉計画推進協議会を作るのが、なぜ地域福祉計画３年目のこの時期なのか。

事務局：区地域福祉計画推進協議会の運営に注力していたことと、１・２年目は課題等を把握する期間と捉え、３年次目を迎え次の計画に向けて立ち上げることになった。

委員：２３年度以降の次期地域福祉計画はどう作られるのか。この推進協議会で考えていくのか。

事務局：次期計画の策定方法についてはこれから検討します。今後、区地域福祉計画１０６の取り組み項目の見直しについて委員の皆様と議論していただくことで、次期計画に反映されるものと考えています。

- 委員：地域福祉計画の取り組み状況調査表の中の実施主体の欄は、○がいずれも1つしか付いていないが、当地区の事業では、他の団体が関わっているものがある。当てはまるところに○を付けるべきではないか。
- 委員：町内自治会が関係しているものが多いと思うが、ほとんど○が付いていない。
- 委員：同表の推進状況の欄の△や○はどういう意味か。
- 事務局：○は取り組み項目と活動内容が合致している、△は合致してはいるが類似している、ということを示しています。

議題（5）

その他

事務局から推進協だより第5号を発行したことを報告した。今後、区内町内自治会へ送付し、回覧依頼する予定である。

また、11月2日に行われた区民まつりにて推進協だより第5号、区地域福祉計画のPR版、地域福祉活動事例集を来場者に配布し、啓発活動を行ったことを報告した。

<質疑応答>

- 委員：推進協だより1面に毎回、会議の様子の写真が使われている。具体的な活動の写真の方が良いのではないか。
- 委員長：今後検討しましょう。
- 委員：地域福祉計画の取り組み状況調査表の中の推進状況の欄で、先ほどの説明の「合致」という考え方がよく理解できない。もし△ならば半分ぐらいの達成度という理解にならないか。
- 事務局：この調査表の各取組項目の具体的な活動内容が計画書には記載されている。その内容に一致しているかどうかで判断している。
- 委員：それを踏まえての△とは。
- 副委員長：広がりがないということ。3地区部会しかやっていない。全地区部会がやれば○になるのではないか。私はそう理解している。
- 事務局：判定が微妙なものもあるので再度検討します。
- 委員：○はどういうこと、△はどういうこと、と明記してほしい。
- 事務局：表の欄外に見方を表示するよう今後検討したい。
- 委員：実施していないものに、○や△が付いているものもある。
- 事務局：再度、見直します。
- 委員：「3高齢者の交流の促進」の中の『花園地区部会「いきいきサロン」・「花見川さくら会」』の実施主体は「ボランティア団体」の欄に○を付けていただきたい。
- 事務局：わかりました。

- 委員：地区部会がまだできていない地域には、どういう取り組みをしているのか。
- 事務局：花見川区には12地区部会あり、中学校区単位では全て設置されている。しかし、一部で地区部会に加盟していない地域がある。昨年度まではその地域の会合に呼ばれることもあったが、今年度はまだない。今後はこちらからもアプローチを掛けていきたいと考えている。
- 委員：高齢福祉を実施するときになぜ介護保険課が参加しないのか。協働することはできないのか。
- 事務局：一旦持ち帰らせてください。
- 委員：地区部会がないところもあるという説明でしたが、地区部会がないと推進計画が進まない。ないところは作っていただくよう、地域に働きかけてほしい。
- 副委員長：推進状況調査は、自治会にも情報提供を呼び掛けたほうが良い。
- 委員：オープンになっていない活動もある。公募もしていないから出てこないものもあると思う。
- 副委員長：抜けているところもいっぱいあるでしょう。
- 委員：地域福祉計画の中では、担い手として地区部会だけでなく、他の団体も列記されている。それらの団体にも呼び掛ければ良い。
- 委員：地域福祉推進計画は各町内自治会長さんに周知されているのでしょうか。
- 委員：町内自治会連絡協議会の中では話しをしている。当地区の町内自治会も皆知っている。
- 副委員長：平成18年に地域福祉計画ができたときにPR版は各自治会に送っている。が、送られたほうは良く見ていないかもしれない。
- 委員：1年ごとに交代する自治会長も多いから、引き継ぎされていないのかもしれない。
- 委員：町内自治会連絡協議会から各自治会長へは伝達されているし、地区部会の役員には自治会長がほとんど含まれているはずだから、全く知らないということはないと思う。しかし、地区部会がない地域もあることから徹底されてはいないかもしれない。周知方法は今後検討したい。

最後に委員長から閉会挨拶をし、午後4時10分花見川区地域福祉計画推進協議会は閉会した。